会　　議　　録

|  |  |
| --- | --- |
| 会議の名称 | 令和３年度　第２回協働推進懇話会 |
| 開催日時 | 令和３年１２月６日（月）１４：００～１６：００ |
| 開催場所 | 和光市役所５階　５０２会議室 |
| 出席者 | 《委員》　　　　　　◎会長　〇副会長■学識経験者〇粉川　一郎（武蔵大学社会学部メディア社会学科　教授）■市民団体を代表する者◎森田　圭子　（NPO法人わこう子育てネットワーク　代表理事）山川　由美子（NPO法人みんなで元気　代表理事）■公共的団体を代表する者加山　秀夫　（和光市自治会連合会）冨岡　俊宏　（和光市商工会）塚本　拓　　（和光市社会福祉協議会）片山　義久　（和光市ＰＴＡ・保護者会連合会）■和光市協働推進ワーキング安井　翠　　（和光市政策課）《事務局》市民活動推進課　林、町村、橘 |
| 欠席者 | 《委員》■和光市協働推進庁内調整委員会中川　大　　（和光市政策課） |
| 次第 | １　協働推進懇話会テーマについて２　テーマに対する具体的なアイデア出し３　その他 |
| 会議資料 | １　次第２　わこらぼフェス　チラシ |
| 傍聴者 | ０名 |

|  |
| --- |
| 会議内容 |
| 《１　協働推進懇話会テーマについて》〈森田会長進行〉（森田会長）テーマは『気軽に集まることのできる企画・仕組み・スペース～まずはみんながつながろう～』である。前回テーマ決めの際にあがった意見、または新たな意見から具体的なアイデアを出し、グループごとに考えていきたい。積極的なアイデア出しで議論を深められたらと考える。《２　テーマに対する具体的なアイデア出し》□事務局含め２グループに分かれワークショップを実施し発表を行う。【グループ１】・森田会長・加山委員・塚本委員（ファシリテーター）・冨岡委員・事務局町村・事務局橘【グループ２】・粉川副会長・山川委員・片山委員・安井委員・事務局林（ファシリテーター）《各グループ発表》□内容は別紙の通り《各グループ発表に対し、意見交換》（冨岡委員）・決まった同じ人が活動を行っている印象が強い。・実は和光市内では既に面白いことを行っているものの認知されていないものが多い。既存のものをブラッシュアップしていくこともありではないか。・年間で和光市全てでどのようなイベントをどこの団体が行っているか、また和光市の自治会館等使用可能な施設一覧があったら良いのではないか。（山川委員）・市民活動推進課でマルシェを行ったり、懇親会を行ったりしているが団体の活動内容は見えづらい。・今回あがった意見で実現可能なものをピックアップし、協働可能な団体に振ったり、自治会に協働しないかと意見を仰いでみたり、全く興味を持っていない現役世代の方々に協力してもらう等、こちらからの交渉もありではないか。・自分たちが各団体と知り合いになる中で、こんなことができるよね、と繋がれるように考えていくのもありだと思う。（片山委員）・和光市ホームページにイベントのカレンダーがあるが、活用されていない。せめて広報わこうに掲載されているイベントは掲載したらどうか。・市内掲示板に掲示している情報は秘書広報課にて管理しているため、掲示情報だけでもイベントカレンダーへ掲載することで、市民参加が見込まれるのではないか。（山川委員）・以前別の方が、『タウン誌があれば良い、作りたい』と言っていた。（森田会長）・タウン誌を作成する講座を通し、集まった人たちとプロセスを共有していくと良い。希望者に持ちかけ、連続講座を行えば形になるのではないか。《投票》□各委員が実現したい案一位に青いシール（１つ）、二位に赤いシール（２つ）を投票、及びなぜ票を入れたのか理由を発表※太字は投票したキーワード（事務局町村）・**『お金を取ってよし』**お金を取ることで一回限りでなく続けられる。今後長い目でみるとお金を取ることは悪いことではない。・**『断捨離で物々交換、フリマ』**物が溢れている高齢者も多いと思うため、断捨離はイベントとして盛り上がるのではないか。（加山委員）・**『スペース』**気楽に集うことは場所がないと難しく、スペースが必要。現在問題になっているのは数。和光市は近隣の新座市より使用可能な公共施設が少ない。・**『仕組み』**今あるスペースにて予約のしやすさや、夜でも使用可能等、使用したいときに気軽に使用できる仕組みは考えなければならない。（冨岡委員）・**『路地』**路地は①定期的に行う落書き等楽しめるもの②毎月一回料理コンテスト等企画を行い、定期的に行うことで集客も見込める。既に集客のある『路地』で何かチャレンジを行える場所が作れるのではないか。歩行者天国を行えば子供も連れていきやすい。・**『自治会対抗』『大同窓会』**同窓会は中々出づらいと加山委員から聞いた。強制的に何歳の人出てください、ということで連れ出せるのではないか。（事務局橘）・**『路地』**インパクトがあって良い。昼間は子供、子供連れ等が良いと思うが夜は夜でコンパクトな居酒屋等皆でふらっと集まって飲めるような大人な空間もありではないか。日中勤務している人も立ち寄れ、駅の近くならより良い。・**『連携』『働く人を巻き込む』**連携と働く人を巻き込む点は和光市で弱い点だと考えるため実現したい。（塚本委員）・**『Free Wi-fi』**必要なところにないことが多い。・**『市民広場』**使っていないことが多いため勿体ない。・**『市全体』**サバイバルゲ―ムや路地。せっかく古くからの路地があるため、もっと色々な方たちに和光の魅力を知ってほしい。「今月はここの路地に集合」のような移動路地も面白い。（事務局林）・**『自治会対抗』**毎年テーマを決める。一から企画は難しいため、既に企画があり、あとは誰が参加するかのみ決める、参加しやすいものが良い。・**『路地』**実際に活用されていないため、行いやすいのではないか。・**『屋上』**新しいイベントで予算が組みづらいため、屋上を貸し出すことにより収益を得、それを協働にて活用する。（山川委員）・**『路地』**大きいところで行うよりも、小規模なほうが色々な方を巻き込みやすい。『路地モデル』をつくり、モデルにしながら広がりをつくる。・**『連携』**新たな人材確保においても新しいものが生まれやすくなるのではないか。・**『屋上』**（安井委員）・**『屋上』**全然使用されていないスペースであり、活用できるのではないか。・**『巨大パズル』**分かりやすく、巨大なものがあると心躍る。・**『予約なしで使えるスペース』**開放されたスペースがあるといい。（片山委員）・**『路地』**和光市は坂道が多いため、坂道を活用、またはチョークで絵を描いたり消すのも楽しい遊びになるため、強制的に通行止めにし、子供たちが安全に遊べる場所を作ることが良い。・**『和光全体を使ったゲーム』**和光かるたの説明書裏に地図があり、探検マップになっているが、現代の子供は行動範囲が狭いため、ゲームを使用し町中を知ってもらいたい。・**『大同窓会』**テーマがあれば無理やり参加できるし新たな繋がりにもなる。（森田会長）・**『担い手づくりの集まり』**継続、自走していくことが良い。次の何かを作り出してくれる仕組みができるため良い。・**『連携』**何をするにせよ、官民問わず必要だと思う。・**『おしゃべり会』**おしゃべりできる場所が欲しい。無駄話が中々できないため、街の中にあると良い。皆と集まることに関心を持ってくれると良い。（粉川副委員長）**・『路地』**先進事例の取り組みになると良い。色々なパターンがあれば良い。各自治会、町内会に、地域の集まる場所、魅力のある路地について議論してもらう。できれば地域の自治会、町内会の人々に考えてもらうプロセスがあると良い。《森田会長意見まとめ》皆さんの票と意見を事務局とまとめ、今後実現に向けて考えていく。《粉川副委員長講評》一番大切なことは和光市が行っている協働推進懇話会内での議論だということである。市民ベースで行っても面白いことは山ほどあるし、どれも市民だけで行おうと思えば行える。今どきの行政には金銭は期待できないが、行政が絡むことによって話がスムーズにいく等、行政の持つコネクションや信頼性を活かせるような企画であったり、そのための場所はどこなのか。或いは行政が強いのは法律や制度の部分である。何らかの形で法律や制度のクリア等検証を行わなければならないこともある。今回あがった意見を丁寧に検証していくと、自ずと和光市が協働で行うことはどれなのか見えてくるのではないか。それを是非共に和光市と行っていきたい。今回のアイデアを、広く市民の方にアナウンスし、今回の意見では漏れてしまったがこういう内容は楽しいのではないか、という思いを共有できるよう、情報に関しては是非シェアしてもらいたい。ソーシャルネットワークサービス等、懇話会の議事録だけではなく情報発信ができると良い。《３　その他》（事務局）□次回会議：２月１日（火）１４時～１６時　場所：決まり次第追って連絡する。□令和４年５月２９日（日）にみんなの「わこらぼまつり」を開催する。現在わこらぼフェスのメンバーを募集中である。以上 |